

6月 とれたて村給食だより



こんげつ
今月は、**鹿児島県さつま町**から
春かぼちゃをお届けするっちい！



板橋区食育キャラクター
いたばち

鹿児島県さつま町について

町内の真ん中には、大きな川内川が流れ、周りには紫尾山などの緑豊かな山がたくさんあります。

米、野菜、茶、果物などを作っています。



～春かぼちゃが届くまで～

2月～3月頃
《種まき》

ハウスで種をまきます。
小さなポットで育てます。

丈夫な苗に育つまで（約1か月）、
水やりや温度管理を注意深く行います。
病気や害虫から守ることも大切です。

3月下旬～4月
《定植》

畑の土を整えて
育った苗を、畑に植え付けます。

4月～6月

鳥をたくさん浴びるように、余分な芽を取ります。
水や肥料をあげて、かぼちゃの成長を助けます。

6月～7月
《収穫》

かぼちゃを一つ一つ丁寧に手で収穫します。
腐らないようにするため、10日ほど風通しの良い場所に置きます。
すぐ食べずに置いておくことで、甘みのあるかぼちゃになります。



お花が
さいてるっちい



★みなさんへのメッセージ★

おいしい野菜を届けられるように努力
しています。たくさんの手間をかけて育て
た野菜をお届けしますので、おいしくたべ
ていただくと嬉しいです。

御式番屋

資料提供：鹿児島県さつま町ふるさと物産課 地図出典：国土地理院ウェブサイト（白地図を加工して使用）

板橋ふれあい農園会給食だより

6月 ジャガイモ

板橋ふれあい農園会とは、板橋区で農産物を作っている区内農家の方の会です。学校に、新鮮で安全な野菜を届けてくださいます。大切に育てられたじゃがいもをぜひ味わってみましょう。

●●●●●じゃがいもができるまで●●●●●

2月下旬～3月中旬（種いも植え）

土をやわらかく耕し、「種いも」という、
種の役割をするいもを植えます。

約30cm間隔で種いもを植え、
間に肥料をまいているっちい！



畑の様子～開花～

《育てているじゃがいもの種類：洞結・男爵・北あかり》

4月上旬（発芽・芽かき）

種いもを植えてから3～4週間て芽が出てきます。
大きく育てるために丈夫な芽を残して余分な芽をとる
「芽かき」をすることもあります。

4月下旬（開花）

約1～2cmの花が咲きます。

白や赤紫、青紫など品種によって
花の色が異なります。



5月中旬（土寄せ）

じゃがいもが日光にさらされて腐まない
ように土をかけます。これを「土寄せ」と
いいます。

土寄せによく使われる機械



6月下旬（収穫）

葉が枯れてきた頃に収穫します。
先に葉を切り取ってから、
スコップで大きく掘って土を除き、
じゃがいもを手作業で掘り出します。



収穫したじゃがいもは、土の上で乾燥させて、腐まないように
にするっちい！

